

審査意見への対応を記載した書類(6月)

(目次) 社会福祉学部 心理健康学科

【施設・設備等】

「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」の「3) 図書等の資料及び図書館の整理」及び「設置の趣旨等を記載した書類(資料)」の【資料 16】において、本学が保有又は購入予定としている心理学関連の図書に関する情報や「学術雑誌一覧」等が示されているが、「心理学研究」や「教育心理学研究」等の心理学の教育研究において必要と考えられる基礎的かつ主要な学術雑誌が示されていないことから、学生が心理学を学ぶ際に必要な文献や情報を広く収集することのできる適切な環境が整えられているのか疑義がある。このため、学生が教育・研究に必要な文献や情報を収集することのできる図書や学術雑誌等が整備されていることについて改めて説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。(改善事項)・・・2

(改善事項) 社会福祉学部 心理健康学科

1. 「設置の趣旨等を記載した書類(本文)」の「3) 図書等の資料及び図書館の整理」及び「設置の趣旨等を記載した書類(資料)」の【資料 16】において、本学が保有又は購入予定としている心理学関連の図書に関する情報や「学術雑誌一覧」等が示されているが、「心理学研究」や「教育心理学研究」等の心理学の教育研究において必要と考えられる基礎的かつ主要な学術雑誌が示されていないことから、学生が心理学を学ぶ際に必要な文献や情報を広く収集することのできる適切な環境が整えられているのか疑義がある。このため、学生が教育・研究に必要な文献や情報を収集することのできる図書や学術雑誌等が整備されていることについて改めて説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

設置の趣旨等を記載した書類(本文)や設置の趣旨を記載した書類(資料)「【資料 16】学術雑誌一覧」に「心理学研究」や「教育心理学研究」等の心理学の教育研究において必要と考えられる基礎的かつ主要な学術雑誌について具体的な記述がなかったことから、審査意見に従い、以下の通り修正し、学生が心理学を学ぶ際に必要な文献や情報を広く収集することのできる適切な環境が整っていることを説明する。修正後の「学術雑誌一覧」はタイトルを「閲覧可能な学術雑誌一覧」に修正し資料別表に一覧として示す。【資料 1】

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類

新(P. 36)	旧(P. 36)
<p>3) 図書等の資料及び図書館の整備</p> <p>(1) 図書の整備</p> <p>本学の図書館では 2023 年(令和 5 年)3 月現在、約 136,802 冊の書籍及び約 1,472 種の学術雑誌を揃えており(蔵書可能数 105,000 冊余)、大学の特質から特に基礎医学系の図書が充実している。そのため、心理学に関する図書を中心に、学科開設時に 116 冊の和書、28 冊の洋書、7 本の DVD、5 タイトルの和雑誌、5 タイトルの洋雑誌(電子ジャーナル)を新規に購入する。購入予定の洋雑誌には、多くの心理系雑誌が購読できる Full APA PsycArticles が含まれている。</p> <p>紙媒体の学術雑誌についても、本学図書館に基礎医学系の雑誌が充分揃っているこ</p>	<p>3) 図書等の資料及び図書館の整備</p> <p>(1) 図書の整備</p> <p>本学の図書館では 2023 年(令和 5 年)3 月現在、約 136,802 冊の書籍及び約 1,472 種の学術雑誌を揃えており(蔵書可能数 105,000 冊余)、大学の特質から特に基礎医学系の図書が充実している。そのため、心理学に関する図書を中心に、学科開設時に 116 冊の書籍、5 冊の雑誌、28 冊の洋書、7 の DVD、5 の電子ジャーナルを新規に購入する。</p> <p>紙媒体の学術雑誌についても、本学図書館に基礎医学系の雑誌が充分揃っているこ</p>

<p>と、また本学は OPAC を導入しており、紙媒体の学術雑誌だけでなく、オープンアクセスの電子ジャーナルの検索・閲覧が可能である。ただし、オープンアクセスとなっていない心理学の主要誌である『カウンセリング研究』『家族療法研究』『Interactional mind』『発達障害支援システム学研究』『学校心理学研究』の計 5 誌については新たに定期購入する予定である。洋雑誌に関しては、すでに本学が利用契約を結んでいる 22 タイトルの心理系洋雑誌を電子ジャーナルとして閲覧が可能であることから、本学科の学修に必要な図書・学術雑誌に不足はないと考える。さらに、『医中誌 Web』『CiNii Research』『PubMed』『Scopus』などの学術情報データベースを利用できるよう整備している。</p> <p>これらの図書や雑誌の閲覧・検索方法に関しては、本学図書館とも連携し、OPAC の利用方法について学生に周知する。また、CiNii Research、Scopus などのデータベースからの文献検索に関する講習会を開催し、電子ジャーナルの利用法や利用に際しての留意事項を指導していく。</p>	<p>とから、心理学の主要誌である『カウンセリング研究』『家族療法研究』『Interactional mind』『発達障害支援システム学研究』『学校心理学研究』の計 5 誌を定期購入する予定である。また、利用契約を結んでいる 23 の心理系電子ジャーナルの閲覧が可能であることから、本学科の学修に必要な図書・学術雑誌に不足はないと考える。</p>
<p>新(資料 16)</p>	<p>旧(資料 16)</p>
<p>[資料 16 : 閲覧可能な心理系学術雑誌一覧]</p>	<p>[資料 16 : 学術雑誌一覧]</p>